

▽ハイパール抗菌R

※ハイパールはサンビック株式会社の登録商標です

ハイパール抗菌Rは抗菌性を有する再生ポリプロピレンシートです。



ISO 22196

for KOHKIN

無機抗菌剤・練込
本体

JP0122949X0003L

S I A AマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

特徴

- ・ SIAAの基準に適合しております。
- ・ 無機系抗菌剤を使用しております。
- ・ 抗菌剤を練りこんで加工しております。
- ・ 再生プラスチック配合率は最大50%です。

抗菌試験結果

抗菌試験

- * 試験方法：JIS Z 2801 抗菌加工製品-抗菌性試験方法・抗菌効果 準拠。耐水処理【区分2】、耐光処理【区分1】
- * 試験菌：大腸菌 *Escherichia coli* NBRC 3972、黄色ブドウ球菌 *Staphylococcus aureus* NBRC 12732
- * 試験試料：ハイパール抗菌R、再生PPシート（ブランク）

試験結果：

表1 大腸菌に対する抗菌力

試料	生菌数対数値		抗菌活性値
	接触直後	24時間後	
▽耐水処理【区分2】			
ハイパール抗菌R	4.06	0.45	5.4
再生PPシート	4.06	5.87	—
▽耐光処理【区分1】			
ハイパール抗菌R	4.10	0.13	5.6
再生PPシート	4.10	5.73	—

表2 黄色ブドウ球菌に対する抗菌力

試料	生菌数対数値		抗菌活性値
	接触直後	24時間後	
▽耐水処理【区分2】			
ハイパール抗菌R	4.09	0.03	4.0
再生PPシート	4.09	4.11	—
▽耐光処理【区分1】			
ハイパール抗菌R	4.08	<-0.20	4.0
再生PPシート	4.08	3.84	—

* 抗菌活性値2.0以上であると、抗菌効果が認められます。

(抗菌活性値…ブランクの培養後の生菌数の対数値と抗菌剤有りの培養後の生菌数の対数値の差)

* 当試験は抗菌機能を付与した製品をその製品が通常使用される環境を考慮して設定された条件で処理した後、付与された機能の程度を調べる一連の試験であり、実使用時の機能の持続性や製品寿命を保証するものではありません。

* 上記数値は当社での測定値の代表例であり、規格値ではありません。

受注対応品

ご希望のサイズ、色、再生プラスチック配合率については、別途ご相談ください。